

(公財)国際港湾協会協力財団
2019年度国際港湾経営研修

イエーテボリ港の持続性戦略

横浜港埠頭株式会社
桑本良治

1. 環境先進国スウェーデン

身近なスウェーデンの企業

環境意識の背景と効果

2. イェーテボリ港における持続可能な港への取り組み

持続可能性の目標と取り組み

持続可能性（サステナビリティ）の重要性

サステナビリティレポートとは

サステナビリティレポートの作成

3. イェーテボリ港における環境への取り組み

環境への取り組みに対する意識

環境への取り組みの具体例

4. 考察

イェーテボリ港の持続可能な発展への取り組み

日本の港湾の対応（サステナビリティレポートの活用）

1. 環境先進国スウェーデン

<身近なスウェーデンの企業>



クライメイト
ニュートラルの
実現

VOLVO HPより一部引用



持続可能な暮らしの実現のため、社会にポジティブな影響を与える

IKEA HPより一部引用

<環境意識の背景と効果>

- 20世紀前半に自然資源(銅,鉄,木材,水等)を活用し工業化
- 工業化で自然環境が破壊、他国より早く環境意識が生れる
- 環境サイクル（持続可能性）が中心の環境教育が盛ん
- 環境改善で得たノウハウ活かし、環境技術の開発・普及・輸出を振興する国家機関により、環境技術を国際的に広め、スウェーデン企業の競争力向上と資金を得る
- **先進的な環境対策は、スウェーデン国、および企業の大きな特徴、並びにブランドとなり、スウェーデンの発展、国際競争力拡大に大きく寄与していると考えられる**

2. イエーテボリ港における持続可能な港への取り組み

<持続可能性の目標と取り組み>

[目標] イエーテボリ港は、スカンジナビアの海上輸送の物流拠点としての地位の確立

[使命] イエーテボリ港湾会社は、強靱で効率的で**持続可能な**スカンジナビアの物流拠点を整える

- **経済的責任** **環境的責任** **社会的責任** 3つの側面の間のバランスを保ちながら**持続可能な港湾経営**を目指す。
- 持続可能な取り組みと、目標達成状況を明確にするための「**サステナビリティレポート**」を作成

<持続可能性（サステナビリティ）の重要性>

- 「世界的に見てイエーテボリ港は巨大な港湾ではなく、取扱量は100位程度であるが、港のサステナビリティにおいてはトップ10に入っている。」
- 「これにより(海運や荷主を含めた)世界の市場や港湾の国際団体の中で強い発言権を持つことができる。」

2. イェーテボリ港における持続可能な港への取り組み

<サステナビリティレポートとは>

- 会社が持続するために必要な「**経済的責任**」「**環境的責任**」「**社会的責任**」の重要な事項に対し、持続可能性の課題に対する状況を分析し、伝えるための報告書
- 毎年作成され、イェーテボリ港では、ホームページへの掲載、港湾施設等に置かれ、誰にでも見ることが出来る
- イェーテボリ港の取り組みを広くアピールし、先進的かつ安心して利用できる港であることを示す効果があると考え



サステナビリティレポート
イェーテボリ港湾会社



港湾厚生施設(食堂)におかれた
サステナビリティレポート

2. イエーテボリ港における持続可能な港への取り組み

<サステナビリティレポートの作成>

- 2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標
- 持続可能な世界を実現するための17の項目、169のサブゴールから構成された「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」が基
- イエーテボリ港湾会社ではこの内で関連する14の項目と40個のサブゴールが目標としている。



我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ(SDGs)

出典 国際連合広報センターHPより

2. イエーテボリ港における持続可能な港への取り組み

<サステナビリティレポートの作成>

[ステップ1：識別]

- 会社の原動力、競争相手、イエーテボリ市の目標などに基づき17項目のリストを作成

[ステップ2：優先順位]

- 利害関係者と優先項目について意見聴取や討議
- 17の項目について市や関係行政機関、港湾会社の経営陣から要望、要請を聞き優先度をまとめる
- 国際ワークショップを2回開催、項目の絞り込み
- 港湾経営や港湾を介するバリューチェーンへの影響を明確化
- GRI※に基づいて項目ごとに相応しい指標を選択

[ステップ3：確定、モニタリング]

- 最終案について港湾会社経営陣で審議し確定
- 確定後も、港湾関係者に提示し、各目標項目の達成状況について、評価、検証を続けていく

2. イェーテボリ港における持続可能な港への取り組み

<サステナビリティレポート主要項目>

分野	持続可能性の項目	2025年における目標
経済的責任	顧客満足 物流拠点としての開発 財務の安定 労働倫理	<ul style="list-style-type: none">市場の中で平均以上の成長スキャンジナビアで最も多くの路線を選択できる強力な物流拠点安定的で持続可能な利益をもたらすことが可能な財務体制
環境的責務	気候 生物多様性 大気排出 資源効率	<ul style="list-style-type: none">革新的に持続可能な輸送への貢献し、港の環境への影響を市の地域の環境目標に必要な範囲まで削減
社会的責任	作業環境、安全衛生 多様性と平等 非差別 能力の開発 排除の削減	<ul style="list-style-type: none">持続可能な港としての開発を推進する従業員と技術をもった会社社会的責任を果たし、地元の雇用に貢献し、魅力的な職場環境を構築。

3. イェーテボリ港における環境への取り組み

＜環境への取り組みに対する意識＞

- 「世界の中で存在感を示すためには最もクリーンな港であることを示す必要がある」 イェーテボリ港湾会社
- 「環境についての持続性に関しては世界のトップ3に入っている」 イェーテボリ港湾会社

＜環境への取り組みの具体例＞

- (1) 船舶からの騒音
- (2) 船舶からの廃棄物
- (3) トラック交通による影響の軽減（鉄道）
- (4) 陸電供給OPS（On-shore Power Supply System）
- (5) モバイルクリーニングシステム
- (6) 自然環境の保護
- (7) カーボンオフセット（気候中立）
- (8) LNGバンカリング
- (9) 環境割引



3. イェーテボリ港における環境への取り組み

＜陸電供給OPS (On-shore Power Supply System) ＞

- ・ 1989年低電圧による供給をフェリー,RO-RO船に対し実施
- ・ 2000年世界で初めての高電圧による陸上電力供給を実施
- **電気料金 (現在)**
1kWhあたり0.03SEKの減税 (0.28SEKから0.25SEK)
電気料金は船側の負担
- **陸電設備の整備費 (現在)**
国とEU からの助成金、既存技術の場合は30%新たなシステムによるもの場合は50%
- **コンテナ船への対応**
入港船舶がOPSに未対応のため対応していないが、将来は供給する



Onshore power supply at the Port of Gothenburg 9

3. イェーテボリ港における環境への取り組み

<LNGバンカリング>

- ・ 2016年9月 最初のバンカリングを停泊地にて実施
- ・ 2018年6月 LBG(液化バイオガス)のバンカリングをタンクローリーから実施
- ・ 運用マニュアル、作業手順等を作成、

● 今後の整備

パイプラインから直接バンカリングを行える設備を整えるプロジェクトが進行。パイプラインはEU のサポート（1億8700 万クローネの助成金）を受け、スウェーデンのガス供給会社が整備

● LNG船に対する環境割引

LNGで運航する船舶の港湾使用料金の**10%**が割引される。
(2019年まで20%)



出典: www.portofgothenburg.com

3. イエーテボリ港における環境への取り組み

<環境割引>

- 良好な環境性能を有した船舶に対して、港湾使用料金の**10%割引**を実施
- 2つの環境インデックスが割引の基準
 - CSI : 星が4つ以上で適用**
クリーン SHIPPING インデックス
スウェーデンの非営利団体 Clean Shipping Project により開発
 - ESI : スコアが30ポイント以上で適用**
環境シップインデックス
IAPH 主導のもと世界の港湾が結成した WPCI が運用
- 2018年には156隻（31%）の船舶がこの環境割引の適用

4. 考察

<イエーテボリ港の持続可能な発展への取組み>

- イエーテボリ港湾会社では「持続可能性」を事業全体に不可欠な、港湾経営の最重要事項と位置付け
- 国連が提唱したSDGsを基に作成した「サステナビリティレポート」の目標項目として、環境対策、物流効率化、施設整備、労働環境の改善など、先進的にかつ多岐にわたる取組みを進め、内外に提示
- 「サステナビリティレポート」を軸とした持続可能な港湾戦略は、環境に最も配慮し、将来に渡り安定、かつ発展していく港であることを世界に示し、他のスウェーデン企業と同様、世界の中では小規模なイエーテボリ港の存在感を大きくしている

4. 考察

<日本の港湾の対応（サステナビリティレポートの活用）>

- SDGsに準拠し作られるサステナビリティレポートは、グローバル企業の多くが作成、公開し、世界標準となっている
- 企業が目指すもの、取り組みが一目瞭然でまとめられている
- サステナビリティレポートは、港で個々に行われている環境対策、港で行っている取組などを、包括的に世界に伝えるツールとして活用できる
- 港湾経営を持続可能なものにするには、幅広い利用者との直接対話、国、港湾管理者と連携した計画、施設整備が必要
- サステナビリティレポートの作成担えるのは、国、港湾管理者とともに港の運営を掌る港湾運営会社が適任
- 港湾利用者との直接的な窓口の役割と、施設整備の中心的な港湾運営会社は、利用者の目線で、サプライチェーンを意識した、サステナビリティレポートの作成が可能。環境対策と物流の効率化を目指す持続可能な港湾経営が実施出来る

ONEのサステナビリティレポート 英語版がHPで公開されている。 (日本語版無し)

大手サステナビリティ投資会社発行

の「Sustainability Yearbook 2017」に掲載されている企業 32カ国の470社のうち、53社が日本企業
これはアメリカの70社に次ぐ会社数 (DJSI指標)
(アメリカ70社、日本53社 イギリス42社)



12

- ENVIRONMENT** – Segment on our Commitment to the Environment which covers our material topics of Emissions, Energy and Oil and Chemical spills.
- ANTI-CORRUPTION** – Responsible Business Partner section of the report which covers our material topics of anti-corruption and transparency.

As a corporate member of UNGC Singapore, ONE acknowledges the importance of the 17 global Sustainable Development Goals (SDGs). We will explore the possibility of mapping our business efforts to the SDGs in the coming years.

2.3.2 OTHER MEMBERSHIPS, ASSOCIATIONS, CERTIFICATES AND AWARDS

At ONE, we recognise that partnership is an important aspect of achieving our sustainable and responsible business ambitions. We are proud members/partners of these other organisations whom we believe share our key values:

- CLEAN CARGO**
Clean Cargo is a business-to-business leadership initiative that involves major brands, cargo carriers, and freight forwarders dedicated to reducing the environmental impacts of global goods transportation and promoting responsible shipping. This is the first year ONE is a member of Clean Cargo.
- VESSSEL SPEED REDUCTION (VSR) INCENTIVE PROGRAM**
ONE has achieved Bronze and Silver award under the VSR Incentive Program, in Santa Barbara Channel Region and San Francisco Bay Area, respectively. VSR is an initiative by the Port of

ECOVDIS SILVER CSR RATING
EcoVadis, a trusted provider of business sustainability ratings, intelligence and collaborative performance improvement tools for global supply chains awarded ONE with a Silver rating for our CSR efforts in July 2018. The EcoVadis Corporate Social Responsibility (CSR) rating methodology is to measure the quality of a company's CSR management system – through its policies, actions, and results.

OCEANNETWORK EXPRESS (ONE)

出典ONE HP <https://jp.one-line.com/>

ご清聴ありがとうございました。

